

旭化成グリーン・ボンド 年次レポート（2022年度）

当社は2020年6月に水力発電所改修工事費用を用途とするグリーンボンドを発行し、調達資金の充当状況および環境改善効果を年次で公表することとしております。

2022年度（2022年4月～2023年3月）の状況は以下の通りです。

1.対象事業について

当社は現在、大正時代に建設した水力発電所による電気を当社延岡地区の工場群へ送電し、事業活動に活用しています。今回の水力発電設備改修工事は、老朽化および耐震性の点から、寿命が到来しつつある水力発電設備を更新し、あわせて高効率化することにより、今後数十年から百年に亘る、再生可能エネルギーの更なる利用を実現するものです。

旭化成グリーンボンドは、当社が所有する五ヶ瀬川発電所および馬見原発電所、二カ所の水力発電所^{*}の改修工事費用を対象としています。五ヶ瀬川発電所は、2022年5月に運転を開始しましたが、台風の被害（2022年9月）により停止しています。運転再開は2023年度下期の見込みです。馬見原発電所は、建屋等工事計画変更により、2025年1月完工予定となっています。

^{*}旭化成延岡地区における水力発電所改修について

| 事業カテゴリー | 適格事業 | プロジェクト | 発電所形式 | 改修後最大出力 | 状況 |
|-----------|--------|---------|-------|---------|-----------------|
| 再生可能エネルギー | 水力発電設備 | 五ヶ瀬川発電所 | 流れ込み式 | 14.5MW | 2022年5月 運転開始 |
| | | 馬見原発電所 | | 5MW | 2025年1月 完工予定 |

2.資金充当状況と環境改善効果

2.1資金充当状況（2023年3月末時点）

2022年度までに、調達資金をすべて充当しました。

| | 調達金額（億円） | 充当金額（億円） | 未充当額（億円） | 充当完了 |
|---------|----------|----------|----------|---------|
| 五ヶ瀬川発電所 | 100 | 100 | 0 | 2022年度末 |
| 馬見原発電所 | | | | |

2.2環境改善効果

2022年度においては、資金用途プロジェクト2件のうち、運転開始した五ヶ瀬川発電所については稼働期間のCO₂削減量を表示しています。馬見原発電所は未稼働ですが、稼働後は1年間あたり以下のCO₂削減効果を見込んでいます。

| | 改修後水力発電設備 発電容量（MW） | *CO ₂ 排出削減量 （ton-CO ₂ e） | 水力発電総容量 （MW） |
|---------|-----------------------|---|-----------------|
| 五ヶ瀬川発電所 | 14.5MW | 1.4万ton （2022年5月～9月稼働） | 56.4MW |
| 馬見原発電所 | 5MW | 0.9万ton | |

*CO₂削減効果=年間発電量(kWh)×CO₂排出係数(kg-CO₂/kWh)
CO₂排出係数：九州電力のCO₂排出係数（2021年度実績）

なお、本レポート実施にあたっては、Sustainalyticsよりレビューを受けています。

[日本語](#)

[英語](#)